

# 井上靖と郷里

# の人々の絆



熊野山戦没者慰霊詩碑除幕式にて（井上靖は左から2番目） 昭和39年（1964）3月20日 個人蔵 初公開資料



井上靖77歳 昭和59年（1984）12月19日 撮影・宮寺昭男  
長泉町井上靖文学館提供

ふるさと  
故里美し

2025  
4/25（金）～8/27（水）

伊豆市資料館 特別展示室

休館日：木曜日 ※7/3（木）～17（木）は資料整理のため休館

開館時間：9：00～16：00（最終入館 15:45）入館料：大人 210円 小中高生 100円

# 井上靖と郷里の人々の絆 ～故里美し～



昭和を代表する小説家・詩人 井上靖は、幼少期を湯ヶ島（現 伊豆市湯ヶ島）で過ごし、「しろばんば」「あすなる物語」「獵銃」など数々の郷里に取材した作品を残しています。

また、伊豆市内には、郷里の人々に向けてつむいだ言葉が校歌や碑として残っており、当地に暮らす人々の心に生き続けています。

伊豆中学校の前身である天城中学校は、井上靖が生徒会誌に寄せた随筆「故里美し」から校訓「克己」を制定して約 50 年間の歴史を歩きました。そして、戦後 20 年の折には、宿区の郷友会が戦没者慰霊のため井上靖に詩の制作を依頼し、熊野山（伊豆市湯ヶ島）に慰霊詩碑を建立しました。

今年伊豆市内の 3 つの中学校を統合して伊豆中学校が開校し、また戦後 80 年となる節目の年です。本展では、伊豆市内に残る直筆原稿などを中心に、初公開資料も交えて井上靖が「故里」に向けて残した言葉たちと、郷里の人々との交流を紹介します。

右上写真：井上靖 77 歳 昭和 59 年（1984）12 月 19 日 撮影・宮寺昭男 長泉町井上靖文学館提供



井上靖「故里美し」直筆原稿  
昭和 44 年（1969）伊豆市資料館蔵

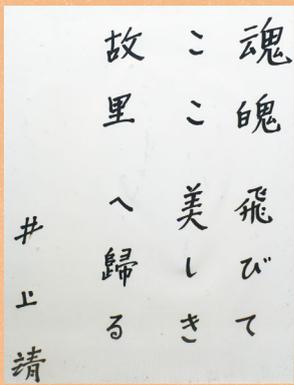


清流編集委員会編『清流』第 14 号  
天城中学校生徒会 昭和 44 年（1969）  
伊豆市資料館蔵

郷里湯ヶ島は、私にとって特別な土地である。

井上靖「故里美し」より

魂魄飛びてここに美しき故里へ歸る

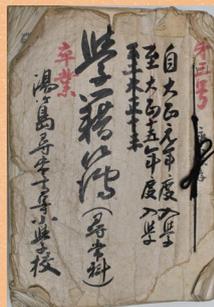


井上靖 熊野山戦没者慰霊詩 複製原稿  
昭和 39 年（1964）頃

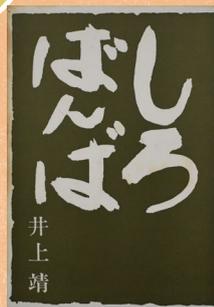


熊野山戦没者慰霊詩碑除幕式にて 昭和 39 年（1964）3 月 20 日 個人蔵  
初公開資料

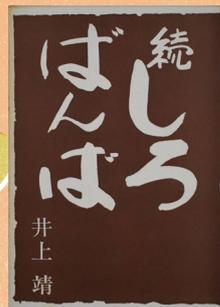
われら宿区在住の元軍籍にありし者七十余名相寄り相謀り曾ての戦友たりし文豪井上靖氏に囑して慰霊の詩文一篇を得ここに戦没諸勇士のために慰霊碑を建立す  
宿郷友会・熊野山戦没者慰霊詩碑 副碑より



湯ヶ島尋常高等小学校「学籍簿（尋常科）」  
大正時代 伊豆市教育委員会蔵



井上靖『しろばんば』中央公論社  
昭和 37 年（1962）伊豆市教育委員会蔵



井上靖『続しろばんば』中央公論社  
昭和 38 年（1963）伊豆市教育委員会蔵

## 伊豆市資料館常設展

常設展では、伊豆市の郷土に関する資料を展示しています。



### 大型有孔虫レビドサイクリナの化石

伊豆半島がかつて南の海にあったことを示す貴重な資料です。この化石が産出した露頭は「下白岩のレビドサイクリナ化石産地」として静岡県指定天然記念物に指定されています。



江川英龍（坦庵）《龍》（部分）  
蓮山代官 江川太郎左衛門英龍（坦庵）が描いた龍の掛け軸で、伊豆市内の旧家に伝えられました。

### アクセス



車：国道 136 号修善寺横瀬交差点より伊東方面へ約 10 分。  
電車・バス：伊豆箱根鉄道「修善寺」駅よりバス約 10 分（伊東方面「白岩」バス停下車）。

井上靖・熊野山戦没者慰霊詩碑より